

郷土の会だより

発行責任者
岡村昭則

第5回専科一期ホームページ委員会
が開かれました(1月5日開催)

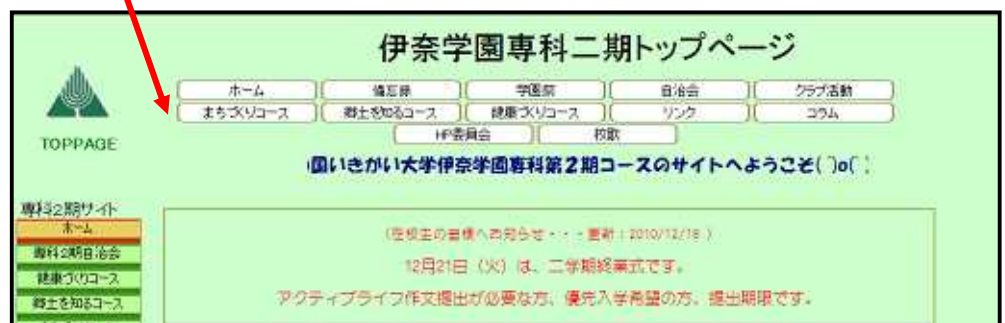
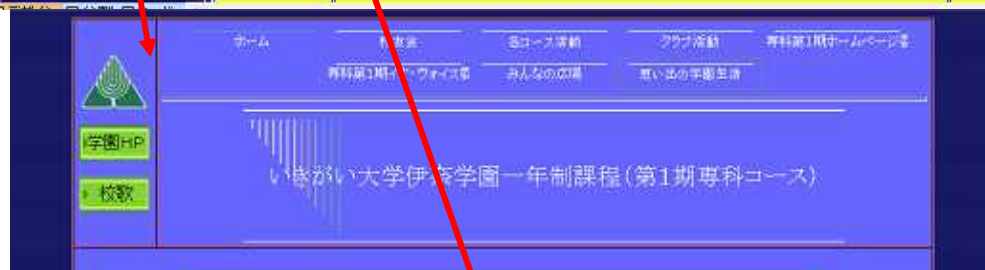
専科一期郷土の会ホームページ委員会出席者

岡村昭則、田中 忠

今回は、今年の三月卒業する専科二期生参加していただきましたので、事前に議題を私の方から用意して討議に入りました。

第一は専科校友会HPを担当して指導していただいている、鈴木進さんの専科校友会HP構想を具体的に図にして、専科は二年生と違って専科とは何かという案内をトップページに入れることから、専科生みの親である氏家所長にあいさつ文の要請も報告して説明に入りました。

専科は二年生と違い、専科のトップページを作り、そこに一期、二期、三期と積み重ねていくことにする案で、別に反対の意見もありませんでした。しかし、トップページを作るには伊奈ネットクラブとの折衝もあるので、鈴木さんにこの場の雰囲気を読み取っていただいて、ネットクラブと打合せしながら案を作ってもらったことをお願いしました。鈴木さんの話では、三期が加入するまでは専科校友会HPの形は固まらないだろうとのことのお話もありました。



第二の議題は、原稿収集について（1年間を振り返る）HP委員9名中3名二年制進学という**殊条件もあり、活動もきびしいものがある。**

まず、HPに何を掲載してきたかを説明

- ・校友会会員参加専科一期校友会活動、伊奈連協と県連協の活動に係る行事予定と活動報告
- ・伊奈学園の柱の一つであるイナヴォイスのPR
- 「お知らせ」等の配布（メーリングリスト）。
- ・HPを会員に見てもらうために11月より掲載

状況発行（メーリングリスト）。

原稿取材について

- ・県連、伊奈連協の行事には、会員が参加した行事のみ取材した。
- ・校友会の行事

- 1、校友会広報部作成のミニミニ通信（県連・伊奈連協行事やクラブ活動紹介等）を「メーリングリスト」で配布。

- 2、第一回交流会（8月実施は各班長が連絡確認）原稿取材。

- 3、理事会及び行事計画と実施報告 ミニミニ通信（一回発行のみ）に第一回理事会報告あり、**それ以降、校友会として分担がはっきりしていなかったので10月分まで報告ナシ。**これでは困るので校友会会長を全コースのメーリングリストに記載して、校友会の理事会報告や合同研修会はじめ、総会予定など会長の方から流すように改善した。但し、郷土コースは「郷土の会だより」で、全理事会及び行事計画や実施報告

を随時、コースのメーリングリスト掲載者32名に送付している。



・班活動、クラブ活動やみんなの広場についてはホームページ委員が中心になって原稿集めを行ってきたが、各コースも原稿集めには限界もあり、**今回、コースが班別になっているので班長さんに責任を持って原稿を書いていただくシステムを構築した、まちづくりコースの皆さんへ（ホームページ掲載済）**呼びかけた高平さんの説明を受けた。

・二期生より、一年生の専科生として原稿収集を集約することが大切で、そのあたりを考えると伊奈ネットクラブの構造的問題も絡んでくる。県連協や伊奈連協の行事については、専科では参加者の意見等のみ扱い、お知らせや報告は主催物が行う。そのあたりを改革する必要があるのではという意見あり。正しくそのとおりで、十二月の公開学習会で20期生と21期生と比較されたりしたこともある。そのような事をこれから専科HP委員会でもまとめて伊奈ネット編集委員会へ提案していくことで意見の集約を見た。

第三の議題は、アーカイブについて 校友会HP1年目が終了するので、掲載したものをどこまでアーカイブに残すか。（昨年は思い出の学園）一年終了後に入れるか、二年後に最初の一年を入れるのか。半年後とにいれるという意見もある。

これらについては時間もなくなってしまうことや時間的に余裕があるので次回にまわすことにして会議を終了した。

会議終了後は、専科一期生は技術的に困っている人に対して鈴木さんからそれぞれにご指導をいただいてHP委員会は終了した。

振り返ると、今回は特に専科HPを如何に充実させていくのか、二期生と様々な意見を交わしてお互いに勉強になった。二期生は自分たちでHP管理を行っているので一期生としても委員長初めレベルアップをして来期からはHP管理をする必要ありを痛感する。

**伊奈いきがいネット
クラブ第八回編集委員会(1月19日開催)**

専科一期ホームページ委員出席者

岡村昭則、伊藤盛夫

今年度第8回編集委員会が伊奈学園で午後5時から開かれ、左記事項の報告があった。

伊奈いきがいネットクラブの組織について4月から変更したいという報告がなされた。その中に動画の部門も設置すること。

伊奈ネットクラブの金銭授受は、次年度は従来どおり伊奈学園が行うことで話がついたとのこと。第二回伊奈ネットクラブの総会は4月を予定している。そのために資料などを準備する。

印刷室の伊奈ネットクラブのパソコンが旧式なので後日新しいものを買換えたい計画とか。

今日は専科二期生と二十一期生も参加しているので、専科から二年生に進学する人が半数もいることから、一年で立ち上げて維持管理するのも難しい一面があること等専科HPの実情について説明し、ホームページ委員が少なくなっていることから取材もままならない状況がある。そのためにはホームページ委員の負担を減らすためには構造的に見直しや、県連と伊奈連との行事の案内と報告はその担当ホームページが担当し、他はそこに参加した個人的なものを扱うことにすれば、HP委員の負担も減ることも話したら、理解は得られ、これから組織について検討していくとのことなので期待したい。

行事お知らせ・実施報告	担当HP委員会	各期HP委員会
県連協事業		個人の投稿記事のみ
公開学習		
社交ダンスの集い	16期	
グラウンド・ゴルフ交歓大会	17期	
県連協会報発行		
いきいきフェスティバル	19期	
伊奈連協事業		個人の投稿記事のみ
グラウンド・ゴルフ大会	17期	
親睦ダンスパーティ	16期	
合同研修会	20期	
ボランティア活動発表会(学園祭)	19期	
いきいきフェスティバル		

県連協・伊奈連協のお知らせや実施報告は担当HP委員会のみが学園HPトップに掲載する。

・各期HPには参加した個人の投稿のみとする。

各期HP委員の原稿収集が簡素化される。(現状、ダブって掲載している)

・どうしても各期で掲載する場合は、掲載元へリンクさせるだけにする。

学園HPトップページは、**まず在校生及び校友会の事業のお知らせの欄を最初にレイアウトして読んでもらうことに主体を置く。**(現状、掲示板とお知らせが逆になっている。終わったことよりもこれからの行事案内を優先させたほうがよい)

・掲示板とニュースについても仕分けをして簡素化することが望ましい。

・専科校友会としては、各コースの半分以上が二年生に進むために一年卒業でHPの維持管理と原稿収集を図ることはHP委員に負担がかかる。

・卒業後のHP委員の位置づけも伊奈いきがいネットクラブの中ではっきりしていないので、はっきりさせてもらいたい。